

2024年 さよなら原発くまもと

講師：満田 夏花（みつたかな）さん  
FoE Japan 事務局長

福島原発

ALPS 処理水の海洋放出

大丈夫なの？



写真：復興庁ホームページより

3月16日（土）

13:45～16:00

国際交流会館 4F 第一会議室  
（要予約 会場45名 オンライン有）  
参加申し込みはここから

熊本市中央区花畑町4-18



資料代 1000円

<https://gstop.net/>



満田夏花さん

国際環境NGO FoE Japan 理事、事務局長。環境関係の財団の主任研究員を経て、2009年よりFoE Japanで勤務。3.11東日本大震災以降は、脱原発・持続可能なエネルギー政策の実現に向けた各種活動に従事。  
<http://www.foejapan.org/>

福島第一原発事故から13年、何ひとつ收拾の見通しも立たない中、政府は老朽化原発の再稼働を決め、昨夏からALPS処理水の海洋放出を強行しています。「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」という首相の言葉が嘘になってしまいました。トリチウムって何？処理水だから大丈夫？他の国も流している？他に方法はないからしかたない！本当にそうでしょうか？海に国境はなく国際問題に発展しています。さまざまな疑問にアクセスしてどうすればいいのか、ともに考えましょう！

※ 講演前にトリチウムの解説（主催者）があります。

主催：3・11から学ぶ会（熊本・原発止めたい女たちの会、放射能汚染水の海洋放出に反対するくまもと市民の会他）連絡先096-389-9810 [kayo.na@athena.ocn.ne.jp](mailto:kayo.na@athena.ocn.ne.jp)（永尾）